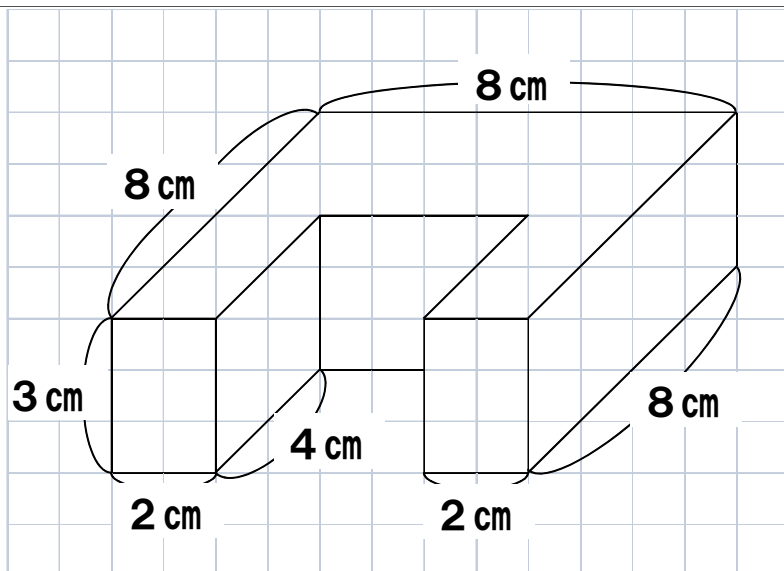


## 評価問題例



複雑な立体の体積の求め方

- ①分けて考える方法
- ②欠けている部分があるものと考えて、最後に全体から引く方法

式

$$8 - 4 = 4$$

$$4 \times 8 \times 3 = 96$$

$$4 \times 2 \times 3 = 24$$

$$24 \times 2 = 48$$

$$96 + 48 = 144$$

答え  $144 \text{ cm}^3$

式

$$8 \times 2 \times 3 = 48$$

$$48 \times 2 = 96$$

$$8 - 2 - 2 = 4$$

$$8 - 4 = 4$$

$$4 \times 4 \times 3 = 48$$

$$96 + 48 = 144$$

答え  $144 \text{ cm}^3$

式

$$8 \times 8 \times 3 = 192$$

$$8 - 2 - 2 = 4$$

$$4 \times 4 \times 3 = 48$$

$$192 - 48 = 144$$

答え  $144 \text{ cm}^3$

## 評価問題のポイント

☆この問題は、複雑な図形を多様な方法で求めることができる。その中から、より求積しやすい方法を考えることができるかがポイントとなる。

- ①分けて考える方法
- ②欠けている部分があるものと考えて、最後に引く方法

どちらの方法でも求めることができるが、より速く正確に計算できる方法を考え、立式できているかが大切になる。

- 手立てを要する児童には、図に補助線を加え、分けて求めることや、あるものと考えて最後に全体から引く方法があることを助言する。そして、これまでの直方体の求積方法で求めることができることに気付かせる。